

令和2年度第2回三重県商工会議所連合会通常会員総会を開催

令和3年2月19日(金)

～令和2年度収支補正予算・令和3年度事業計画・収支予算を承認～

三重県商工会議所連合会（会長：種橋潤治）は、令和3年2月19日（金）四日市商工会議所にて、県内12商工会議所の会頭・専務理事の出席のもと「令和2年度第2回通常会員総会」を開催しました。

種橋会長は、総会挨拶の中で令和3年度の県連活動の基本的な考え方について、第一に、『新型コロナの克服と新しい社会創りに向け』、「事業と雇用の継続」を守ることが至上命題として、中小企業、小規模事業者の経営環境の改善を支援するための「切れ目のない経済対策等」について、要望活動を行っていく。さらに、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進や、首都圏一極集中の解消、サプライチェーンの再構築、カーボンニュートラル等を始めとする、持続可能な社会実現に向けた企業としての責務の遂行など、機運醸成と取組促進の支援策など関係機関との連携していく。次に、『県土の強靱化と地方創生』として、自然災害に対し、官民あげ対応を進め、また、リニア中央新幹線の一日も早い全線開通、高速道路、地域の幹線道路等のインフラ整備の促進に向け、要望活動に努める。「三重とこわか国体、三重とこわか大会」、「第9回太平洋・島サミット」の開催が、三重県を国内外に売り込むチャンスとして捉え、経済活性化に繋げていけるよう取りみたいとし、まさに「新しい社会創り」に向け、『進取の気概』を持って、皆で知恵を出し合い、県内会議所の皆様との『連携・協働』を力として、刻一刻と変化する現場の声に基づき活動を展開したい。」と述べた。



▲挨拶をする種橋会



▲意見交換会の様子

▼講演会の様子



総会では、令和2年度収支補正予算、令和3年度事業計画および収支予算について審議し、満場一致で原案どおり承認されました。

総会終了後は、「新型コロナウイルス感染症対策について」、三重県雇用経済部島上部長を交え意見交換会を実施し、伊藤（津）、山野（伊勢）、中澤（桑名）、田山（上野）の各会頭から地域の状況や県等への要望などについての発言があった。さらに、各副会頭もリモート参加し、国立研究開発法人 国立環境研究所 地域環境創生研究室主任研究員の五味馨氏を講師に、テーマ『脱温暖化社会の実現に向けた地域ビジョン』の講演会を開催しました。